

## 隣の芝生化校訪問

このコーナーでは、芝生化校の取り組みや維持管理活動における工夫などを紹介していきます。

三鷹市内で初めて校庭を芝生化した第一小学校。地域と連携し創意工夫しながら、子供たちが伸び伸びと遊べる校庭芝生を育てています。



## 東三鷹学園 三鷹市立第一小学校

芝生化DATA	
児童数 (平成27年5月1日現在)	630名
芝生化面積	1,031㎡
芝生化年度	平成20年度

### 一小グリーンサミット会議が力強くサポート

芝生化から3年ほど経過した平成23年、後に校庭芝生の親方になる岡田実校長は、PTA、町会、校庭利用団体など、地域の方に維持管理の協力を要請し「一小グリーンサミット会議」を立ち上げました。日常の維持管理や夏休みをはじめとする長期休業期間は、地域の方が活躍してくれるため、学校の負担は大幅に減りました。



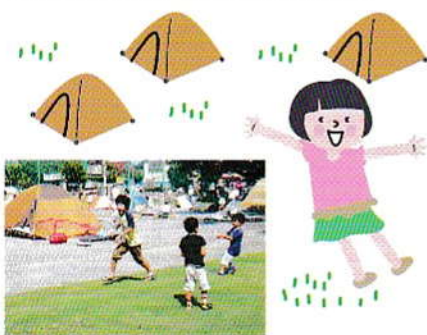
### 芝生の“バンソウコウ”

芝生の養生中に立ち入り制限を設けると、子供たちの遊び場が減ってしまいます。これを解決するため第一小学校で編み出した方法が「芝生のバンソウコウ」でした。芝生に光透過性の高い農業用防虫シートを張ると、シートが踏圧による擦り切れを防ぎ、その上で活動しても芝生が良好に育ちます。「立入禁止」による子供たちのストレスがなくなり、一石二鳥のアイデアとなっています。

### 情報をみんなで共有

一小グリーンサミット会議では、維持管理活動やイベントの情報を地域にも伝えようと、メールリストや学校のホームページに「芝生だより」を掲載して情報の共有を図っています。

また、児童の保護者が作成した芝生を守るためのキャラクター「芝レンジャー」は、広報誌や校長室前の掲示板などに登場し、“芝生の上でやってはいけないこと”を啓発しています。



芝生を守るためのオリジナルキャラクター・芝レンジャー



芝レンジャーの敵、出現!



### イベントを通じて芝生のよさをアピール

毎年6月、1年生を対象に「しばふのべんきょうかい」を開いています。岡田校長と専門家が、芝生の上ではいけないことなどを丁寧に説明し、みんなで大切にしようねと伝えています。夏休みには、おやじの会である「ダディ・ベアの会」が「パパと!ママと!学校に泊まろう!」を開催しました。芝生の上で体を動かして遊び、校庭に張ったテントに泊まります。こうしたイベントを通じて、これからも芝生のよさをみんなで共有していくそうです。

「隣の芝生化校訪問」掲載希望校を募集します。担当まで御連絡ください。